



令和3年10月8日 第8号

学校だより



京都市立北総合支援学校

緊急事態宣言が解除となり1週間、今日は前期終業式でした。この前期期間中は、ほぼ緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されていました。そのような中、子どもたちは、この状況を受け入れ、いつもと変わらず学習に取り組むことができました。ご家庭での保護者の皆様の支えがあったからこそだと感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

各学部の1年生も学校生活にすっかり慣れて、それぞれに少～し頼もしくも見えます。先日、中学部のあるユニットでは、Web会議システムを活用し教室と家庭をZoomでつなぎ、訪問教育の生徒が担当の先生とリアルタイムで授業に参加していました。ハロウィンの素敵なカレンダーをお互いに見せ合い、その後、職員室や事務室に移動してカレンダーをプレゼントしました。離れた落ち着ける環境（家庭）で、学校にいる友達の雰囲気や先生の声、校内の移動の様子等わくわく感をリアルタイムで共有する様子を見て、感心した次第です。また、昨日、小学部3年生では、雪印メグミルク京都工場のオンライン見学を行っていました。このようにGIGA端末の活用により、これまでにない授業の充実や支援を行うことも増えてきました。

さて、右の写真は「ラーメンケーキ」です。ラーメンが好きな友達の誕生日に、同じ学年の友達が作ってプレゼントしたものです。子どもの素敵な発想、友達を思う優しい気持ちに感動しました。とても微笑ましい場面でした。他にも、子どもたちの姿を通して「学校っていいな」と実感する毎日です。



学校は、子どもたちにとって安心安全な場であり、宣言の有無や感染の増減に影響されることがなく、安定した学習の保障と継続ができることが何より大切であり、役割でもあります。宣言はひとまず解除となりましたが、学校におきましては、引き続き、感染症対策をしっかりと行い、学習の充実を図ってまいりますので、ご家庭におかれましてもこれまでと同様にご協力をお願いいたします。

実施を見合わせていました校外学習や調理実習、販売活動等を楽しみにしている児童生徒も多いです。合唱や密になる活動は難しいですが、活動内容によっては、実施の方法、感染のリスク等を検討し、感染症対策を十分に講じた上で行っていきます。あきぞらフェスタに向けての取組も佳境を迎え、盛り上がってきました。今年度も体育館で学年ごとの発表を中心に実施いたします。保護者の皆様には改めて、ご案内させていただきます。

後期もどうぞよろしくお願いいたします。

(校長 伊丹 由紀)



前期末ケース会議 ありがとうございました

9月14日（火）～10月6日（水）は、前期末懇談会でした。

今回は、緊急事態宣言下ということもあり、それぞれ、お電話、リモート、日をずらしての直接来校という形で実施させていただきました。

ケース会議でさせていただいたお話しをもとに、今後の学習に生かしていきたいと思います。

楽只館 スマイルカフェ

北総合支援学校サテライト施設「楽只館」では、10月6日より、感染症拡大防止対策を講じながら、店頭販売を始めました。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

元気で明るい接客と製菓でおもてなしをします。

○毎週水曜日（不定休）10:00～11:15

○感染症等の状況により活動を中止

することもございます。

ご了承ください。

製菓の一例



店頭販売を
はじめました



データから見るマスクの効果

マスクの効果については、その素材によって効果の違いが発表されています。マスクは、吐き出す飛沫の飛散の防止に効果が高くなっています。吸い込む飛沫については、吐き出す飛沫を防ぐよりも効果が低いものの、双方が着用することによって、さらに効果が高くなると言われています。

		吐き出し飛沫量	飛沫量	吸い込み飛沫量
マスク	不織布マスク	20%	少 ↑ ↓ 多	30%
	布マスク	18～34%		55～65%
	ウレタンマスク	50%		60～70%
なし		100%		100%

また、大きさや紐の長さなど、顔へのフィット感や鼻と口が覆えていることも大切です。もちろん、装着が難しい方の場合は、この限りではありません。

私たちは、この感染症を通して、日常生活と感染対策は切り離せないものであることを認識しました。マスクの着用については、着用が難しいお子様も多いです。学校では、お子様の状況に応じて正しい着用ができるよう取り組んでいきます。

マスクの素材による吐き出し飛沫量と吸い込み飛沫量

（スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果、内閣官房作成データをもとに作成）